

マイ・タイムライン(避難計画シート)を 作成しましょう！

余裕を持って安全に避難するために、マイ・タイムラインを作って、いざという時の自分の行動を考えておきましょう。

マイ・タイムラインってなに？

大雨が降ったら…自分の家は浸水するの？何をもって逃げる？どこへ逃げる？いつ逃げる？住民の一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、「いつ」「誰が」「何をするか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画が“マイ・タイムライン”です。

どうやって作るの？

記入例を参考に、ご自身やご家族の行動を書き込んでください。その他、災害時の連絡の取り方や、持ち出し袋など、防災についてお話いただければと思います。

作成したら、わかりやすいところに掲示してください。

※広報のぎ8月号にマイ・タイムラインを折り込みしておりますので、ご活用ください。

折り込みの資料がない場合は、お手数をお掛けいたしますが役場総務課までお越しください。



新型コロナウイルス感染症対策のための分散避難

災害時には、避難所が過密状態になることを防ぐために、車両避難(車中泊)や安全な親戚宅、友人宅等への早めの避難を検討してみましょう。

「避難」とは、「難」を「避」けることであり、新型コロナウイルス感染症に感染するリスクを少しでも減らすため、避難所以外への避難も有効です。

■安全な親戚宅、友人宅等への避難

避難所が過密状態になることを防ぐため、安全な場所に住んでいる**親戚宅や友人宅等へ避難**することも検討してみましょう。

■垂直避難(在宅避難)

水害時、自宅が2階建て以上の住宅にお住まいの方は、洪水ハザードマップをご確認いただき、ご自身でご判断の上、ご自宅において**垂直避難**することも検討してみましょう。

■車両避難(車中泊)

車両避難(車中泊)を行う場所として、各指定避難所の駐車場を開放する予定です。定期的な運動や換気などを心がけ、**車両避難(車中泊)**することも検討してみましょう。

※車両のみの避難の場合には、町内グラウンド及びその駐車場等を開放する予定です。

※垂直避難や車両避難を検討する際には、1週間程度の食料を備蓄するよう心がけましょう。

■指定避難所への避難

分散して避難することが困難な方は、指定避難所へ避難しましょう。避難所の備蓄品には限りがあります。マスク、体温計、アルコール消毒液、食料など、ご自身に必要な物はあらかじめ準備しておくように心がけてください。

また、現在指定緊急避難場所である地域の公民館等への避難についても検討しております。



◆堤防の拡幅及び階段の改築について

国土交通省の事業により、思川右岸松原大橋から友沼橋までの区間の堤防の拡幅及び階段の改築工事を行いました。堤防を拡幅したことにより、治水の面では河川の増水に対し、以前より堤防が強化され、また階段へ新たに手すりを設置し、歩行者がより安全に通行できるようになりました。



防災行政無線テレホンサービス (自動音声応答装置) 0180 (99) 2121

上記の番号にお電話いただくと、防災行政無線の放送内容を音声メッセージで確認できます。